



＜ 令和4年度 魚津市当初予算の概要 ＞

■ 一般会計：185億2,500万円（前年度対比：+8億800万円 +4.6%）
 ■ 市制70周年を記念した取組みに加え、人口減少や社会構造の変化に対応した前向き予算

＜一般会計 歳入・歳出＞

（単位：百万円）

区分	R4	R3	増減
歳入合計	18,525	17,717	808
市税	6,576	5,872	704
譲与税・交付金	1,406	1,489	△83
地方交付税	3,350	3,167	183
基金繰入	316	153	163
うち財源不足に係るもの	0	50	△50
上記以外	316	103	213
国県補助	3,927	3,686	241
地方債	1,305	1,522	△217
うち臨時財政対策債	290	881	△591
上記以外	1,015	641	374
寄附金	407	305	102
その他	1,238	1,523	△285
歳出合計	18,525	17,717	808
人件費	2,748	2,772	△24
うち会計年度任用職員	345	306	39
上記以外	2,403	2,466	△63
社会保障費	3,229	3,170	59
公債費	1,670	1,579	91
物件費	3,174	3,008	166
補助費等	2,482	2,607	△125
繰出金	1,988	2,006	△18
普通建設	2,000	1,287	713
災害・除雪	216	207	9
その他	1,018	1,081	△63

◇歳入は、国の地方財政対策により臨時財政対策債が大きく減少したが、個人市民税や固定資産税など市税が大幅に改善し、減収分をカバー。
 ◇歳出は、定員管理等に伴い人件費が減少したが、本江地域交流センターの建設や経田漁港整備などの大型事業に伴い普通建設費が増加したほか、統合小学校建設にかかる公債費の増加などにより予算規模が拡大。

＜市制施行70周年を記念した取組み（70周年枠）＞

令和4年度に市制施行70周年を迎えることから、市民・事業所の皆様とともに祝い、未来に希望を感じられる様々な記念事業を展開

◇70周年記念事業 合計：107百万円

＜社会構造の変化に対応した施策の展開(社会構造対応枠)＞合計388百万円

◇コロナワクチン接種等感染症対策のほか新しい生活様式への転換

⇒ ウイズコロナ・アフターコロナへの対応 合計：221百万円

◇行政課題に対するICT技術を活用した取組み

⇒ DX・スマートシティの推進 合計：121百万円

◇再生可能エネルギーの導入をはじめとする脱炭素社会の推進

⇒ ゼロカーボンシティに向けた取組み 合計：46百万円

＜総合計画の実現化（重点施策）＞合計1,198百万円

喫緊の課題である人口減少の克服と地域経済の活性化を図るため、第5次総合計画に掲げる重点施策に予算を重点配分

◇魅力あるしごとの創出と育成 合計：115百万円

◇にぎわいある空間の創出 合計：484百万円

◇移住・定住の促進と関係人口の創出 合計：107百万円

◇安心・安全な暮らしの確保 合計：77百万円

◇子育て環境・教育の充実 合計：357百万円

◇世代を超えた活力ある持続可能なまちづくり 合計：58百万円

＜財政健全化の取組み＞

◇地方交付税・臨時財政対策債・譲与税等（4.9億円減）が大きく落ち込むが、市税（7.0億円増）の大幅な改善に加え、国の交付金等の活用及び行財政改革の推進（行革効果0.7億円）により財源不足を解消

◇財政健全化計画の目標
 令和6年度までに財政調整基金残高10億円超 ⇒ 前倒しを目指す

<市制施行70周年を記念した取組み(70周年枠)> 計106,547千円

(拡) 市制施行70周年記念事業	8,854千円
・記念式典開催	4,310千円
・記念写真展開催	1,167千円
・オリンピック写真展開催	3,377千円
(新・拡) うおづスポーツコミッション事業	25,870千円
(拡) 観光・物産宣伝事業(魚津まつり等)	21,000千円
(新) 魚津の三大奇観展開催事業	11,130千円
(拡) 官民連携推進事業	10,000千円
(拡) 中小企業活性化支援事業(〇〇魚津)	7,000千円
(新) 新川森林祭事業	3,100千円
(新) 日本風景街道大学魚津校開催事業	2,500千円
(拡) ママと子どもが輝くまちづくり事業	1,800千円
(新) 飲食店等連携賑わい創出事業	1,200千円
(拡) 25歳・27歳の成人式事業	520千円
ほか14事業	13,573千円

市制施行70周年コンセプト

～ みんなでつなごう！未来へのバトン～



<ウィズコロナ・アフターコロナへの対応(社会構造対応枠)> 計221,069千円

(継) 新型コロナウイルスワクチン接種事業	79,284千円
(拡) 魚津の宿泊割引事業	68,000千円
(新) 公共施設予約システム構築事業	20,900千円
(新) 稲作農家支援事業	5,420千円
(新) 着地型旅行商品造成支援事業	2,000千円

◇その他の新型コロナウイルス感染症対策事業

(継) 保育園等感染症対策物品購入事業	10,550千円
(継) 感染症対策保証料助成事業	4,900千円
(継) 公共施設感染症対策物品購入事業	2,000千円
(継) 自宅療養者支援事業	162千円
ほか12事業	27,853千円



※上記事業の財源として「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」(1.0億円)及びふるさと納税(コロナ対策分として寄附を受けたもの・4,900千円)を活用

<DX・スマートシティの推進(社会構造対応枠)> 計120,721千円

(新) スマートシティ推進事業	19,696千円
(新) スマート窓口システム構築事業	55,300千円
(新) 公共施設予約システム構築事業 ※再掲	(20,900千円)
(新) 電子申請管理システム構築事業	14,767千円
(新) デジタル人材活用事業	6,600千円
(新) クマ通報システム導入事業	1,979千円
(新) 魚津市民バスPayPay支払い導入事業	253千円
ほか3事業	22,126千円



<ゼロカーボンシティに向けた取組み(社会構造対応枠)> 計45,882千円

(新) ゼロカーボンシティ推進事業	17,064千円
-------------------	----------

【主な取組み】

・小水力発電設置候補地基礎調査	10,000千円
・太陽光パネル設置ポテンシャル調査	2,000千円
・卒FIT電力公共施設活用事業	700千円

(新) 公共施設LED化事業	28,818千円
----------------	----------



<①魅力あるしごとの創出と育成> 計114,683千円

様々な分野における働く場の創出
と産業の育成に取り組みます。



(新) 経田漁港再整備事業	98,000千円
(拡) 中小企業活性化支援事業 (〇〇魚津) ※再掲	(7,000千円)
(新) 稲作農家支援事業 ※再掲	(5,420千円)
(新) 新川森林祭事業 ※再掲	(3,100千円)
(新) 事業承継推進事業	2,800千円
ほか5事業	13,883千円

<④安心・安全な暮らしの確保> 計77,098千円

災害に強いまちづくりと安心・安全な
暮らしを守る取組みを進めます。



(拡) H P Vワクチン接種促進事業	58,935千円
(拡) 緊急情報等一斉配信メールサービス事業	3,260千円
(新) 届出避難所に係る開設運営物資支援事業	475千円
(新) 骨髄バンクドナー支援助成事業	280千円
(新) 高齢者安心見守りシール交付事業	148千円
ほか1事業	14,000千円

<②にぎわいある空間の創出> 計484,656千円

中心市街地の都市機能向上と集約化の推進及び
まちなかへの誘導によりにぎわいを創出します。



(拡) 仮称・本江地域交流センター建設事業	363,013千円
(新・拡) 魚津駅・電鉄魚津駅周辺整備事業	90,172千円
(拡) まちなか公園魅力向上事業	31,471千円

<⑤子育て環境・教育の充実> 計356,954千円

切れ目のない子育て支援の推進と
学校教育の充実を図ります。



(新) 旧上野方小学校解体事業	129,470千円
(拡) 室内温水プール建替推進事業	71,115千円
(新) 総合公園賑わい創出事業	60,000千円
(新) 保育士等処遇改善臨時特例事業	46,473千円
(新) 小学校プログラミングクラブ運営事業	3,465千円
(新) 不登校児童生徒等対策事業	3,193千円
(拡) 産後ヘルパー派遣事業	2,000千円
(新) 子育て短期支援事業 (ショートステイ)	1,080千円
ほか3事業	40,158千円

<③移住・定住の促進と関係人口の創出> 計107,119千円

移住・定住人口の増加や関係人口の創出及び
観光振興によるまちづくりに取り組みます。



(継) 子育て新婚世帯等住宅取得支援事業	60,200千円
(新) 子育て新婚世帯移住促進事業	10,000千円
(新) 空家利活用推進事業	7,445千円
(拡) 関係人口創出・拡大事業	4,000千円
(新) 高校生合同定住 P R 動画制作事業	3,310千円
(新) 魚津産木材利用促進事業	2,000千円
(拡) こうのとりのプロジェクト婚活支援事業	1,510千円
(拡) 魚津の宿泊割引事業 ※再掲	(68,000千円)
(新・拡) うおぶスポーツコミッション事業 ※一部再掲	31,024千円
(新) サイクリングを活用した賑わい創出事業	6,000千円
(新) 紅ズワイガニ消費拡大実証事業	4,000千円
(新) 観光推進体制組織強化事業	3,500千円
(新) 着地型旅行商品造成支援事業 ※再掲	(2,000千円)

<⑥世代を超えた活力ある持続可能なまちづくり> 計57,711千円

特色ある地域資源を活用した地域主体の
誰もが輝けるまちづくりを目指します。



(拡) 電子地域通貨事業	24,840千円
(拡) 片貝川流域水循環遺産活用事業	10,785千円
(新) 市内路線バス最適化推進事業	4,050千円
(新) 地域資源を生かしたまちづくり事業 ※水族館に関するフォーラムを開催	500千円
(新) 人と人がつながるまち事業	300千円
(新) S D G s 推進事業	186千円
ほか2事業	17,050千円

【令和4年度においては、財政調整基金を取り崩すことなく当初予算を編成】

＜令和4年度当初予算における財源対策の概要＞

①主な負担増加要因（一般財源ベース）約11.8億円（A）

- 地方交付税・臨時財政対策債・譲与税など 4.9億円
- 重点施策・特別枠 5.9億円
- 公債費（元金・利子） 1.0億円

②主な負担軽減要因 約11.8億円（B）

- 市税（個人・法人市民税、固定資産税等） 7.0億円
- ココナ交付金など国・県補助金 2.4億円
- 地域づくり基金などの繰入 1.6億円
- 社会保障関連繰出金（国保・後期高齢・介護） 0.1億円
- 財政健全化計画に基づく取組み（行革効果） 0.7億円

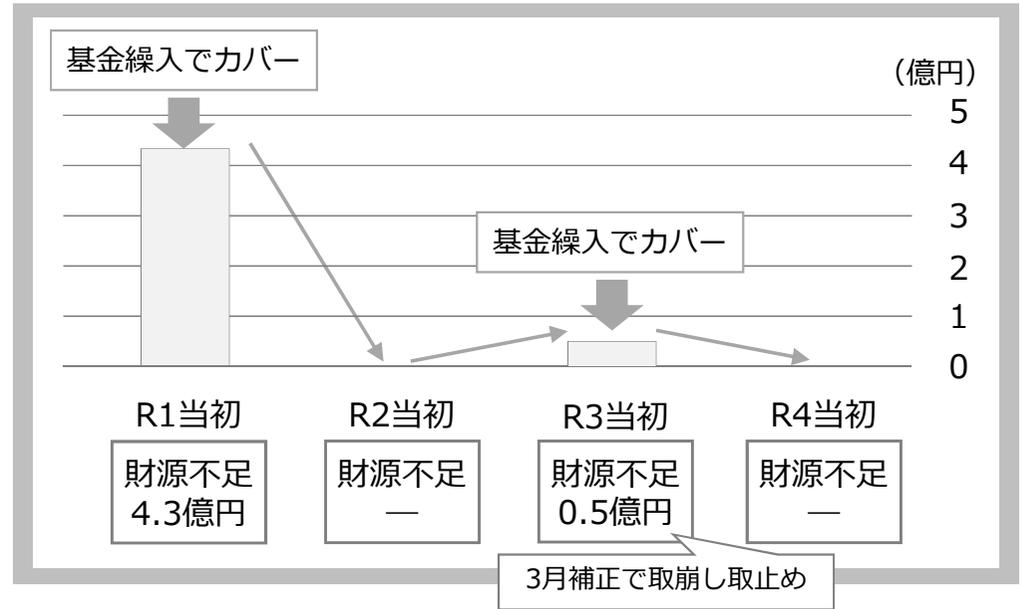
財源不足額 = (A) - (B) = 0円

【参考：行革効果額】 (単位：百万円)

財源不足解消対策	R4目標額	R4効果額	備考
①投資的経費の抑制	△5	△5	国の有利な財源の活用等
②公共施設の見直し	0	△29	学びの森閉館による削減
③事務事業の見直し	△22	△23	シーリング効果等
④人件費削減	△24	△60	定員管理による削減等
⑤公債費の平準化	40	40	R1年度末借換債の影響
⑥歳入の見直し	4	△6	使用料の減等
合計（①～⑤－⑥）	△15	△71	

◇人件費の削減で目標以上の成果があったほか、天神山学びの森交流館の閉館に伴う管理費の削減により、目標を大きく超える行革効果額を達成

＜財源不足額の推移（当初予算ベース）＞



＜主な基金残高の推移＞

(単位：億円)

区分	H29	H30	R1	R2	R3見込	R4見込
財政調整基金	2.6	2.6	4.6	6.6	8.6	8.6
減債基金	0.3	0.3	0.3	0.3	5.3	4.7
公共施設基金	4.7	3.5	3.5	4.7	6.7	6.4
合計	7.6	6.4	8.4	11.6	20.6	19.7

3月補正で計9.0億円積立

◇財政調整基金等の計画的な積立を行い、統合小学校建設にかかる公債費の増や、公共施設等（本庁舎やコミュニティセンターなど）の将来の建設・改修に備えて財政基盤を強化
 ◇引き続き事務事業の見直しや新たな財源の確保に努めながら行財政改革を推進し、財政健全化計画の目標である「R6年度までに財政調整基金残高10億円」の前倒し達成を目指す